

第64回 全国植樹祭 鳥取県実行委員会

第5回総会

日 時 : 平成24年1月24日(火)

場 所 : 県庁第22会議室



次 第

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

- (1) 基本計画最終案について
- (2) 第64回全国植樹祭実施計画への移行について

4 報告事項

- (1) プレ植樹祭の開催について
- (2) 県民運動の展開について
- (3) 日産プリンス鳥取販売(株)による協賛車両(リーフ)の提供について

5 その他

6 閉会



添付資料一覧

- 資料 1 第64回全国植樹祭基本計画最終案(概要版)
- 資料 2 第64回全国植樹祭実施計画への移行について
- 資料 3 プレ植樹祭の開催について
- 資料 4 県民運動の展開(美鳥の大使の認定制度)
- 資料 5 県民運動の展開(苗木ステイ・リレー植樹等)
- 資料 6 日産プリンス鳥取販売(株)による車両協賛(リーフ)
- 資料 7 今後のスケジュール(案)

第64回全国植樹祭 基本計画最終案



トッキーノ

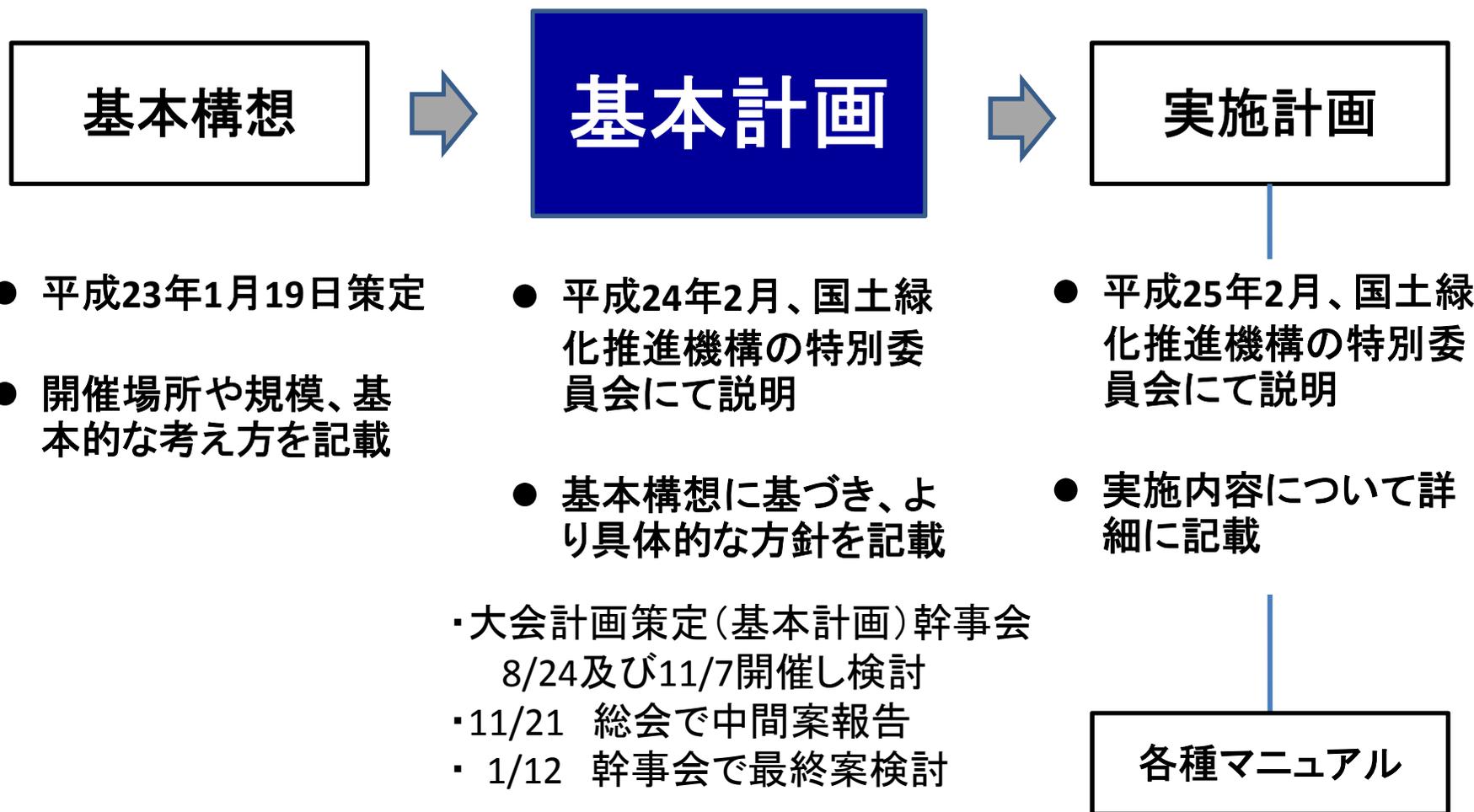
第64回

感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ

全国植樹祭

とっとり 2013

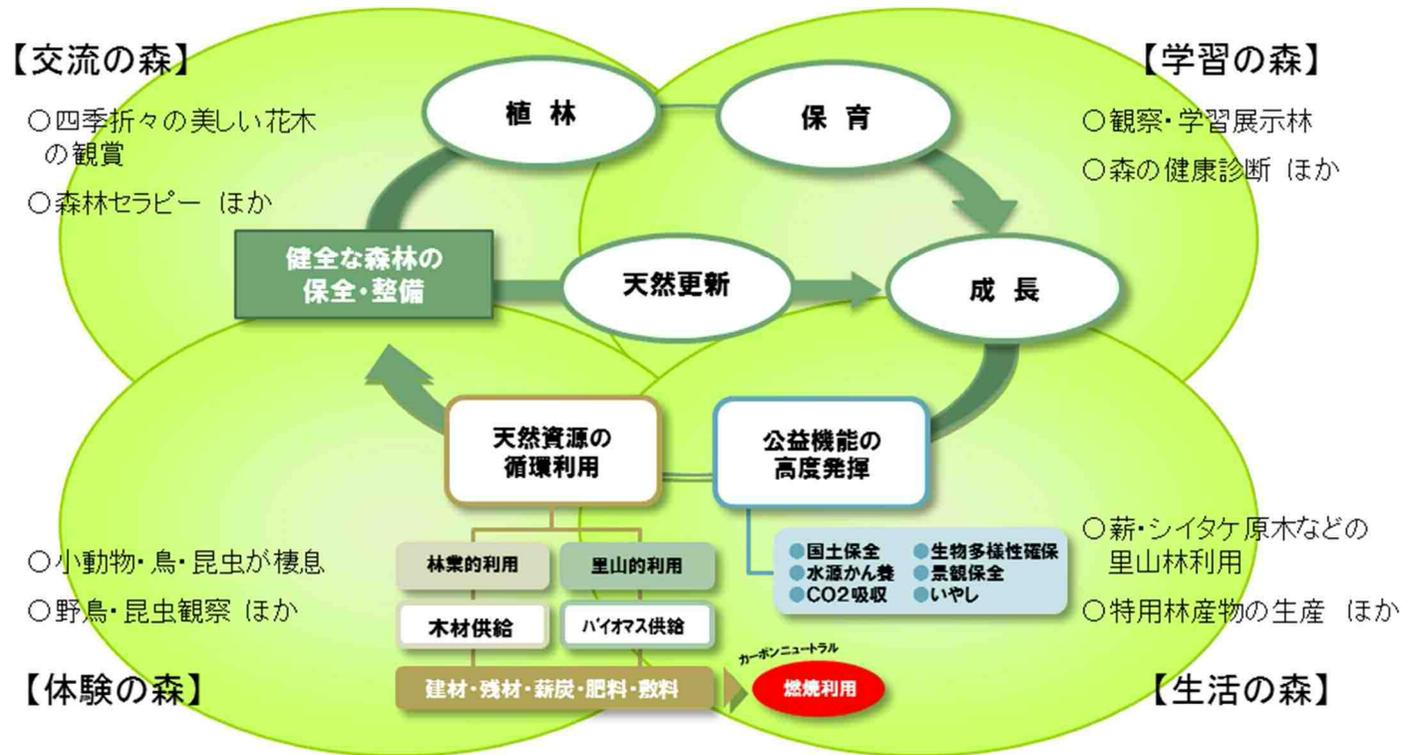
全国植樹祭の計画体系



第1章 開催概要 — 開催方針

平成25年の全国植樹祭は、森林の機能を復活させるために、木材資源の循環利用を図りながら、県民全体で推し進める森林づくりのモデル林を整備し、「持続可能な森林づくり」を始める契機として開催します。

〔持続可能な森林づくりのイメージ〕

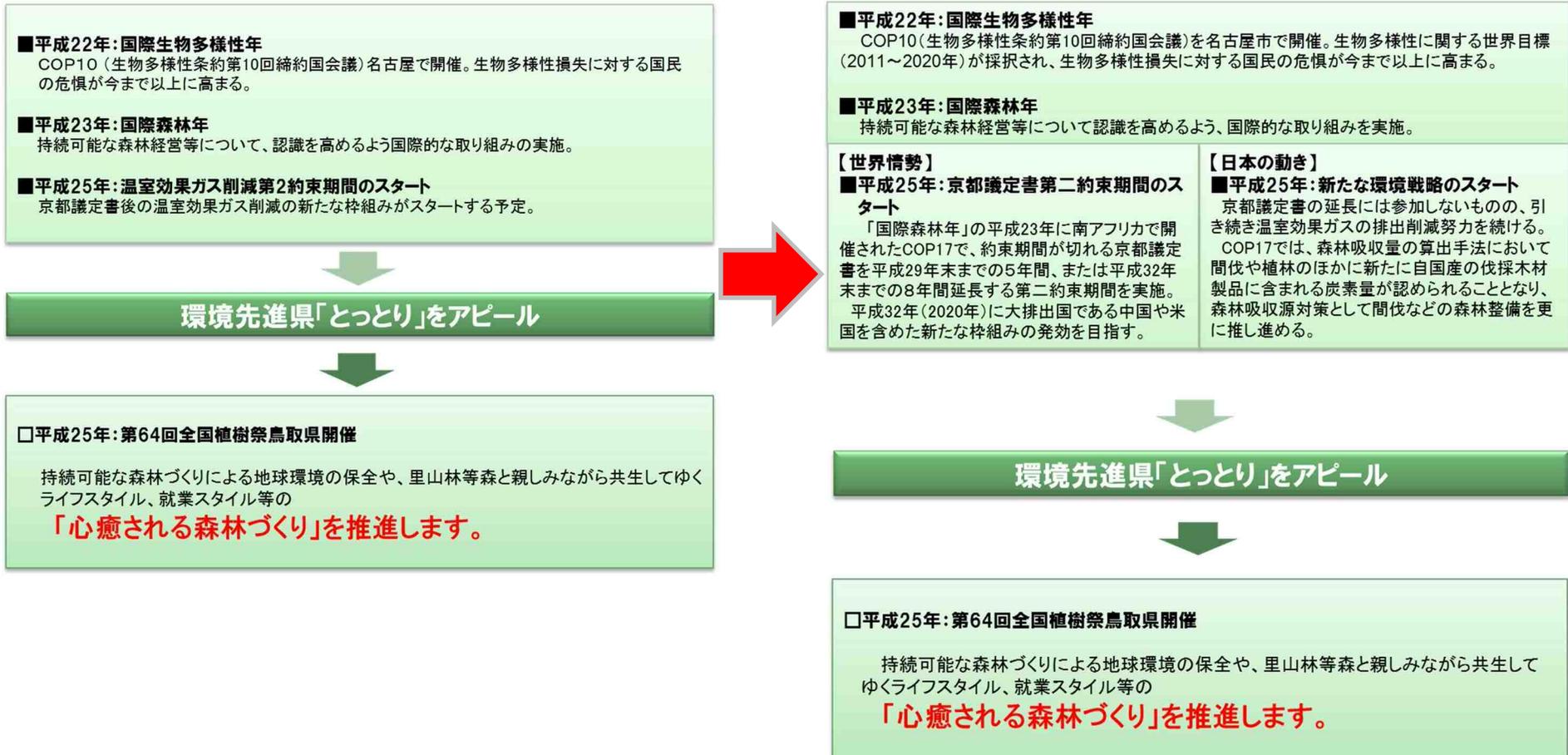


第1章 開催概要 — 開催理念

京都議定書の発効以降、森林のCO2吸収機能への国民的関心は高まっており、県内各地では「とっとり共生の森」や「森林環境保全税」、カーボンオフセットを活用した森林整備を始めとする、企業や県民による森林保全活動の輪が広がっています。

また、平成23年に開催されたCOP17(気候変動枠組条約第17回締約国会議)において、平成25年から森林吸収量の算定手法に、新たに自国産の伐採木材製品に含まれる炭素量が認められることとなり、森林の果たすべき役割が益々重要となってきます。

このような中、平成25年に開催する全国植樹祭では、環境先進県「とっとり」の活動を県内外に発信し、今後更に森と親しみながら共生していく社会の実現を目指します。

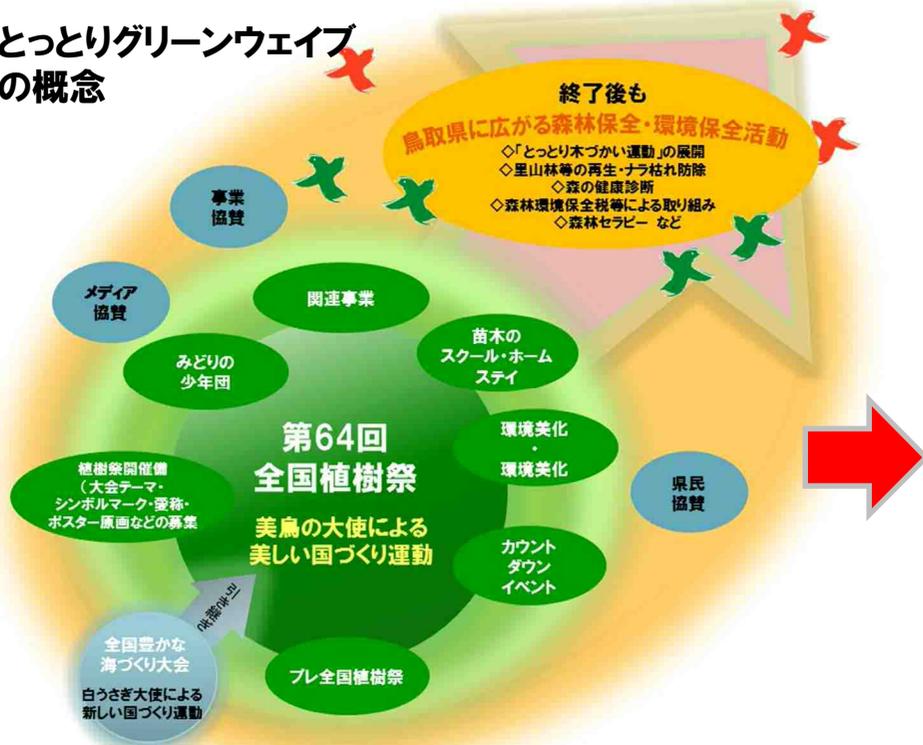


第1章 開催概要 — 県民運動について

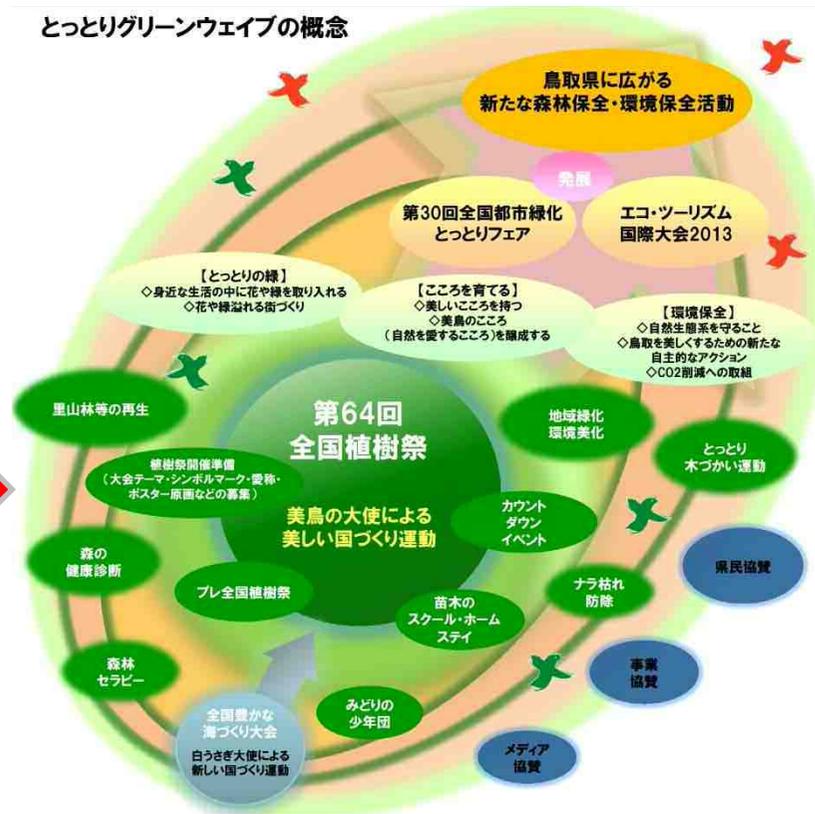
○第64回全国植樹祭の開催を契機に、県民、企業、ボランティア等の多くの皆さんが環境保全活動に取り組み、自ら行動する県民運動「とっとりグリーンウェイブ」の気運を醸成し、緑豊かな鳥取県から環境の良さを全国にアピールする県民運動として発展させ、県民運動の中心となる人々を「美鳥の大使」と位置付けます。

○美鳥の大使による県民運動は、第64回全国植樹祭と同じ平成25年に鳥取県で開催される「第30回全国都市緑化とっとりフェア」「エコ・ツーリズム国際大会2013in鳥取」へと発展・承継させ、環境日本一の鳥取県を目指します。

とっとりグリーンウェイブの概念



とっとりグリーンウェイブの概念



新たな国造り運動に参加する白うさぎ大使から「引き継ぐDNA」



Dynamic Nature Advance
力強い自然界前進

継承

全国植樹祭「とっとりグリーンウェイブ(県民運動)に参加いただくすべての県民が「広めるDNA」



みどり 美鳥の大使による美しい国づくり運動

波及・拡大

Daily Near Action
日常の身近な行動

継続

全国植樹祭終了後も継続した取り組み(ホスト植樹祭)を行うすべての県民が「進化させるDNA」



植樹会場の手入れ(花回廊・鏡ヶ成高原)
地域植樹会場での体験型イベント等

第64回全国植樹祭開催後も「美鳥の大使」のDNAを広め進化させる
県民総参加による美しい国づくり(森林づくり)を推進。

新たな国造り運動に参加する白うさぎ大使から「引き継ぐDNA」



Dynamic Nature Advance
力強い自然界前進

継承

全国植樹祭「とっとりグリーンウェイブ(県民運動)に参加いただくすべての県民が「広めるDNA」



みどり 美鳥の大使による美しい国づくり運動

波及・拡大

Daily Near Action
日常の身近な行動

継続

全国植樹祭終了後も継続した取り組み(ホスト植樹祭)を行うすべての県民が「進化させるDNA」



◆植樹会場の手入れ(花回廊・鏡ヶ成高原)
◆地域植樹会場での体験型イベント等
◆第30回全国都市緑化とっとりフェア
◆エコ・ツーリズム国際大会2013

第64回全国植樹祭開催後も「美鳥の大使」のDNAを広め進化させる
県民総参加による美しい国づくり(森林づくり)を推進。

第2章 式典行事計画 一 式典

時間	区分	プログラム	進行内容	
10:15	プロローグ	プロローグ案内	鳥取県の豊かな自然と、その自然に培われた歴史・文化・産業等を表現	
		歓迎演出		
10:50		記念式典のご案内		
11:00	記念式典	天皇皇后両陛下 御到着		
		開会のことば		
		三旗掲揚・国歌斉唱		
		主催者挨拶		
		表彰	森林や自然を育み守ってきた緑化功労者への感謝として表彰	
		苗木の贈呈		
		天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き		
		参加者代表記念植樹		
		大会テーマの表現	環境先進県とっとりが目指す森林づくり、「美しい国づくり運動」を発信し、大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を創造的に表現	
		大会宣言		
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ	
		11:50	閉会のことば	
			天皇皇后両陛下 御退席	
12:00	エピローグ	エピローグ案内	未来へのメッセージを発信し、来場者参加型演出により会場全体を盛り上げ	
12:15		エピローグ演出		

第3章 植樹行事計画 一 植樹会場

とっとり花回廊いやしの森

県内招待者は、午前・午後に分かれて植樹



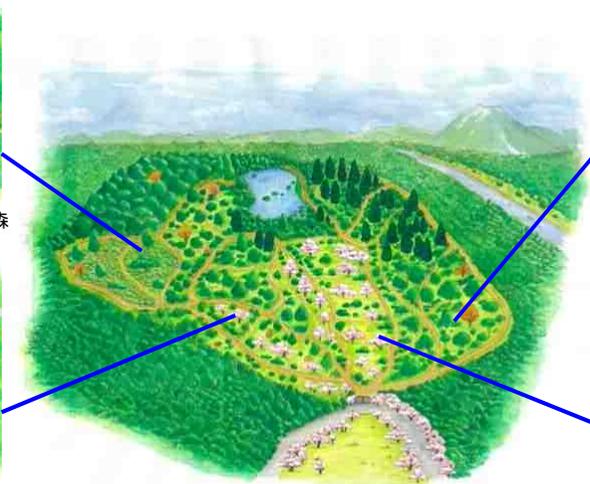
【生活の森】

人々の暮らしと共存した里山の森
アラカシ、スタジイ、コナラなど



【体験の森】

人と動物がふれあう多様性の森
エノキ、シバグリ、アベマキなど



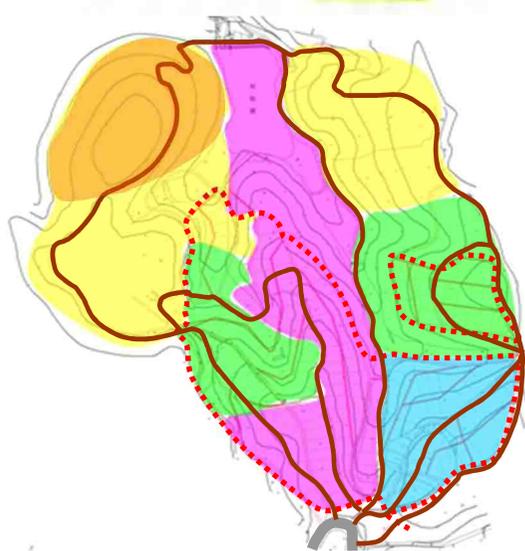
【学習の森】

県内の代表的な樹木を植栽する
学習の森
サザンカ、ツバキ、スギなど



【交流の森】

四季の彩りを感じられる樹木の森
ヤマザクラ、イロハモミジなど



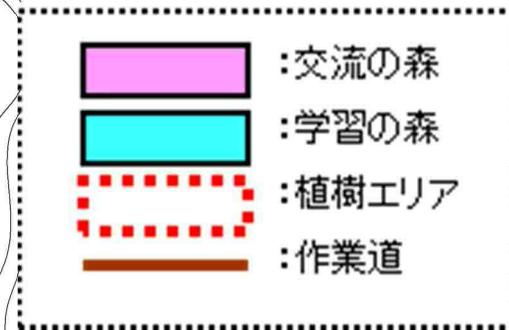
国立公園 奥大山鏡ヶ成高原 ※森の名称については、地元と相談中



【交流の森】
四季の彩りを感じられる樹木の森
ナナカマド、カエデなど



【学習の森】
地元の子供たちがメモリアルとして江府町の木であるブナを植樹し、下刈などの林業体験などを行う学習の森



第4章 会場整備計画 一 施設計画



〔木製ベンチ〕
〔無垢〕



〔LVL〕



〔Jパネル〕



〔木製プランター〕



サイン計画 テーマカラー

① 藍色



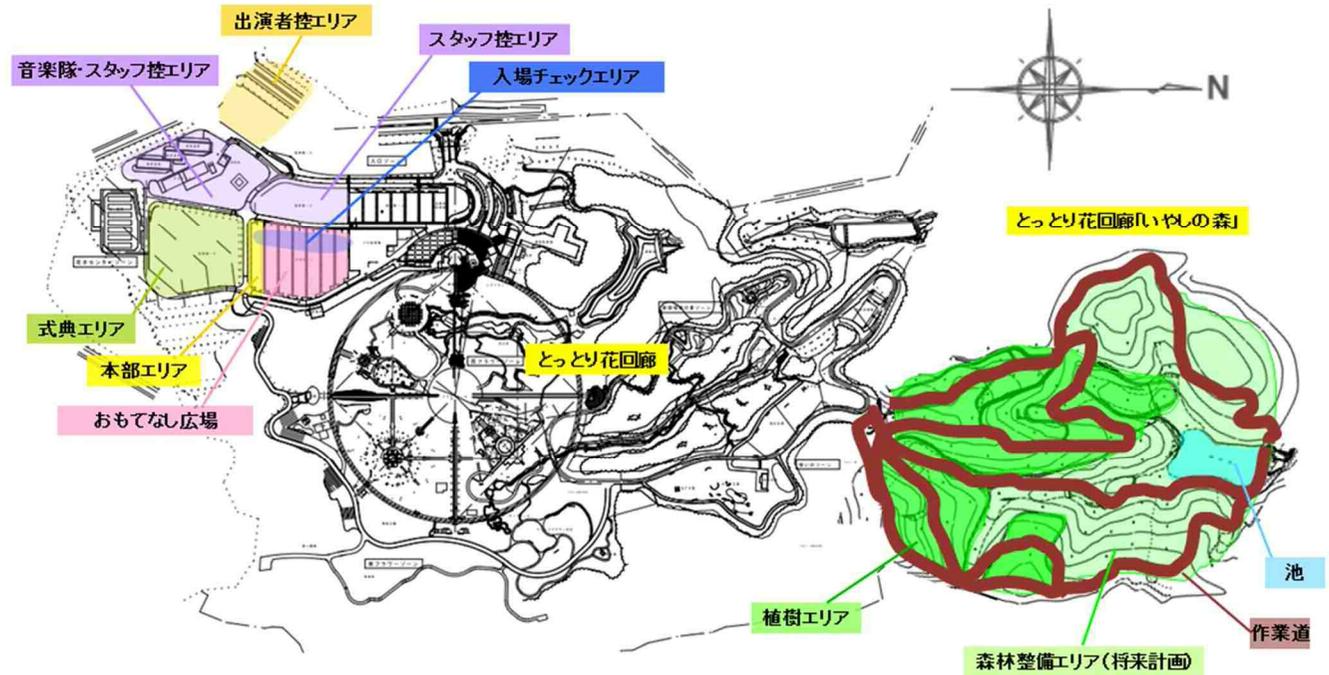
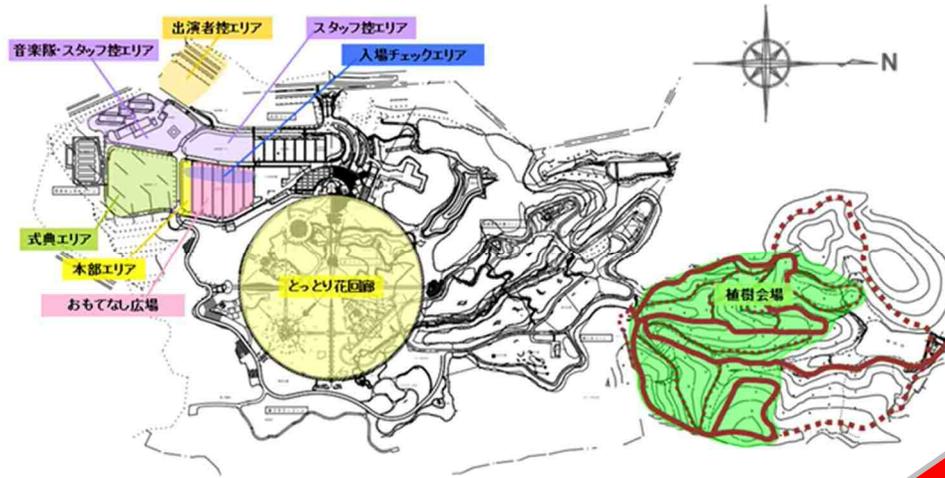
② 茜色



③ 緑色



会場配置計画



第5章 運営計画 一 招待計画

区分		人数	備考
中央特別招待者①		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、林野庁長官、鳥取県知事、県議会議長、次期開催県知事、開催市町長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長 等
特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議長 等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小計②	420人	
一般招待者	県外一般招待者	1,250人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	3,300人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民等
	小計③	4,550人	
招待者小計(①+②+③)		5,000人	
本部員・協力員④		2,000人	実施本部員、協力員、出演者、ボランティア
合計(①+②+③+④)		7,000人	

県外招待者:1,500人 県内招待者:3,500人
中央特別招待者以外は、全員バスで移動

第5章 運営計画 — レセプション計画

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第64回全国植樹祭の開催県として、招待者の来訪を歓迎懇親を深める場とします。

〔主 催〕 鳥取県

〔開催日時〕 全国植樹祭開催日の前日 18:00～19:00(予定)

〔会 場〕 両陛下の宿泊施設内

〔出席者〕 350名程度

- ・中央特別招待者(国務大臣、次期開催県知事、開催市町村長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長等)
- ・県外特別招待者(緑化功労者、代表表彰者、県選出国會議員)
- ・県内特別招待者(緑化功労者、県議會議員、市町村長、実行委員会委員等)

第5章 運営計画 — 会場おもてなし計画

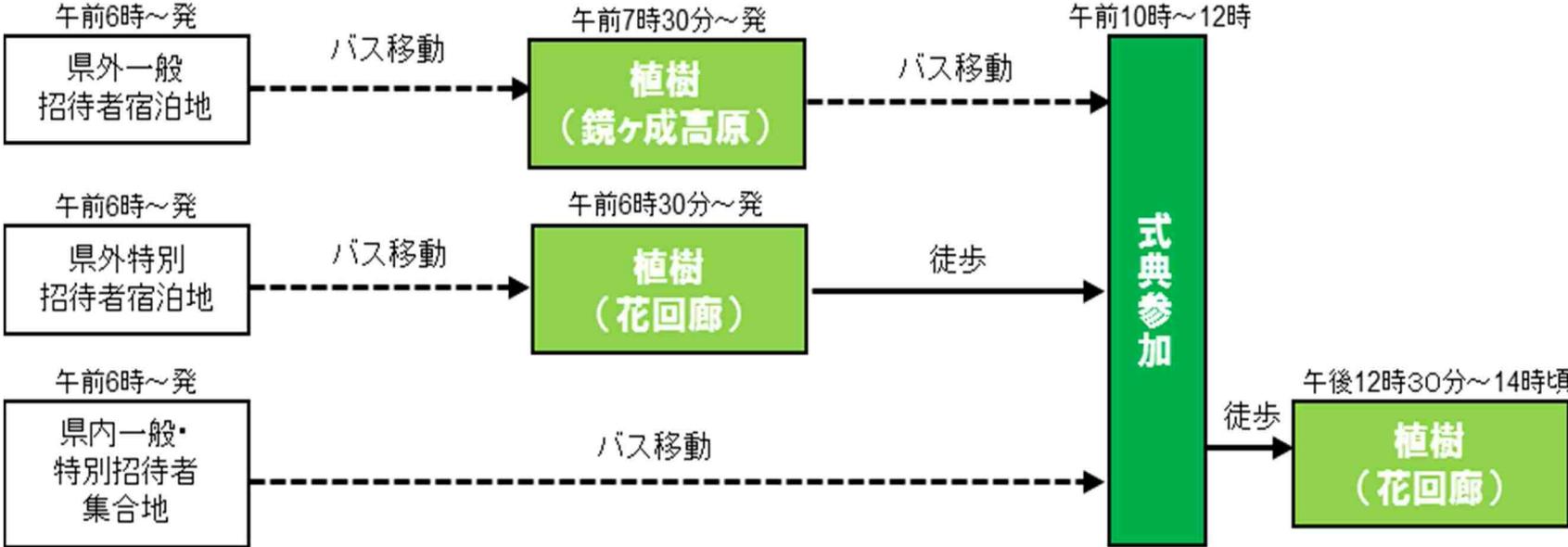
区分	施設名	内容
式典会場 (おもてなし広場)	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	歌や踊り、郷土芸能等の披露
	湯茶接待所(お招き茶屋)	参加者に湯茶、ミネラルウォーター、お菓子等を提供
	販売コーナー	鳥取県の特産品や飲食物等を販売
	展示コーナー	鳥取県の森林、林業、観光等について展示紹介
	臨時郵便局	記念切手の販売と郵便、宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護
	休憩テント	休憩用のテントを設置
植樹会場	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供・応急処置

昼食計画、医療・衛生計画、消防・防災・警備計画を作成し運営

4～2週間前の総合リハーサルの際に接遇研修を実施

第6章 宿泊輸送等計画

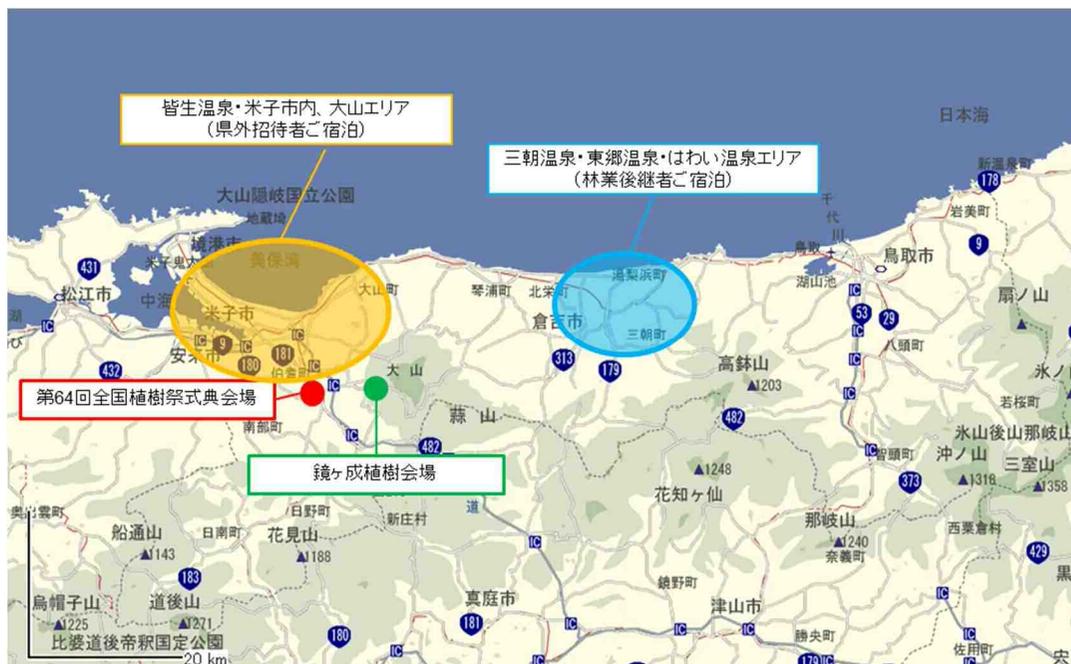
植樹祭当日の参加者スケジュール



※高齢者・障がい者等に配慮した移動手段については、実施の段階で検討

第6章 宿泊輸送等計画 — 宿泊計画等

宿泊候補地



輸送ルート



参加者区分	輸送手段	台数
中央特別招待者	ハイヤー等	30台
県外招待者	計画輸送バス	50台
県内招待者	計画輸送バス等	119台
協力員 (実施本部員・協力員・ 出演者・出展者等)	計画輸送バス等	47台
計	ハイヤー等乗用車 計画輸送バス	30台 216台

第7章 荒天時式典計画

参加者一覧

区分	内訳	人数(人)
中央特別招待者	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等	30人
県外招待者	国会議員、中央省庁、中央団体、受賞者等	350人
県内招待者	県議会議員、実行委員会委員、受賞者等	350人
本部員・協力員	実施本部員、運営ボランティア等	300人
計		1,000人

式典プログラム

参加者入場	
11:00	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等
式典	
11:10	天皇后両陛下御到着 開会のことば 国歌斉唱 主催者あいさつ 表彰 苗木の贈呈 天皇后両陛下のお手植え、お手播き 大会テーマの表現 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇后両陛下御退席
参加者退場	

晴天会場の式典次第から「プロローグ」「エピローグ」、記念式典アトラクション、参加者代表記念植樹を除く構成

式典時間: 50分

第8章 県民運動

- 全国植樹祭開催の大きな柱と捉え、第1章開催概要に記載
- 第8章では再掲

県民運動の進め方

- 現在取り組まれている市町村の活動やNPO等の活動と連携・協働し、全県的な活動を促進
- 全国植樹祭への参加や、県民運動へ参加いただいた県民一人ひとりが身近な人へ伝え、発信し、県民全体への広がりを促進
- 「美鳥の大使による美しい国づくり運動」は、県が認定する「美しい国づくり運動」に参加した県民を「美鳥の大使」として認定

第9章 記念事業

- プレ全国植樹祭(1年前リハーサル)
- カウントダウン地域緑化イベント(平成24年度実施)
- ポスト植樹祭(地域植樹会場での植樹祭)
- 記録誌・記録映像の作成、記念切手の発行
- 苗木のスクールステイをはじめとする育苗事業

第10章 広報・協賛計画

○広報計画



第64回全国植樹祭

○協賛計画



第64回全国植樹祭実施計画への移行について

○基本計画作成の企画提案競技の結果

募集期間 H23.1.28～H23.3.14

応募事業者数 4者

審査会 H23.3.23開催

最優秀提案者 (株)乃村工藝社・日本海テレビジョン放送(株)JV

○企画提案競技で評価された点

- ・鳥取に根付いている人の起用
- ・「白うさぎ大使」を「美鳥(みどり)の大使」へと発展
- ・木材の積極的な活用
- ・実行経費の抑制



実施計画への移行についての考え方 (事務局案)

引き続き、(株)乃村工藝社・日本海テレビジョン放送(株)JVと契約したい。

【理由】

○基本計画を作成する段階で、提案内容の具体性を確保するため、一步掘り下げて議論しコンセプトを固めており、その理解度に優れている。

- ・地元演出家によるアトラクション演出の骨格を作成
- ・加えて、それを実現させるためのスケジュールを作成
- ・基本計画の内容を詰めながら、実施に近い形で精度の高いパース図を作成

○H23年度からH25年度までの三年間の業務に連続性、整合性が認められ、連続性のある業務は、同一業者である必要がある。

第64回全国植樹祭プレ植樹祭 (第58回鳥取県植樹祭)の開催について

- 1 日時 平成24年5月20日(日)
- 2 場所 式典・植樹:西伯郡伯耆町・南部町「とっとり花回廊」
※荒天会場:西伯郡伯耆町「町民溝口体育館」
主催 鳥取県・伯耆町・南部町・(社)鳥取県緑化推進委員会
共催 第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会・とっとり花回廊
- 3 参加者 みどりの少年団、県民等 約1,500名
- 4 内容
 - (1)式典「森林・みどりへの想い(全国植樹祭に向けて)」発表
第64回全国植樹祭開催PR(美鳥の大使、キャラバン隊)
植樹活動(代表植樹、代表種播き、市町村の木記念植樹)
 - (2)「森林・木材にふれる催し」
- 5 第64回全国植樹祭の試行的運営
 - ・全国植樹祭開催地での開催
 - ・お手植え、お手播きの実施
 - ・招待者送迎、植樹会場への人員輸送
 - ・吹奏楽演奏、合唱
 - ・飾花配置・開花調整試行



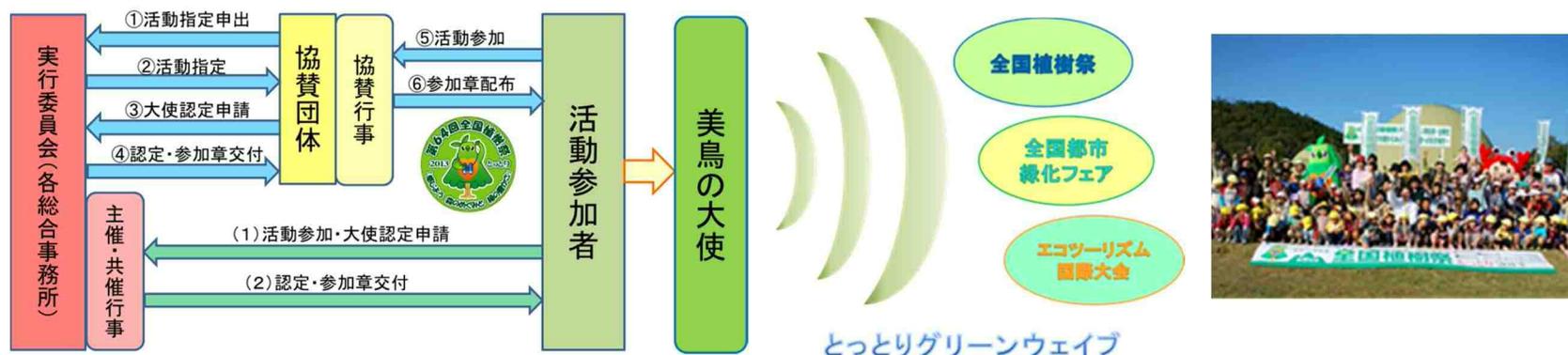
県民運動の展開(美鳥^{みどり}の大使の認定制度)について

第64回全国植樹祭の開催を契機に、県民、企業、ボランティア等の多くの皆さんが環境保全活動に取り組み、自ら行動する県民運動「とっとりグリーンウェイブ」の気運を醸成し、緑豊かな鳥取県から環境の良さを全国にアピールする県民運動として発展させるため、その中心となる人々を「美鳥(みどり)の大使」として認定する制度を設けました。

○「美鳥の大使による美しい国づくり運動」の対象活動の参加者を認定します。

○対象活動は、ふるさとの森・川・海とともに生き、それらをはぐくむ活動を広範に対象とします。

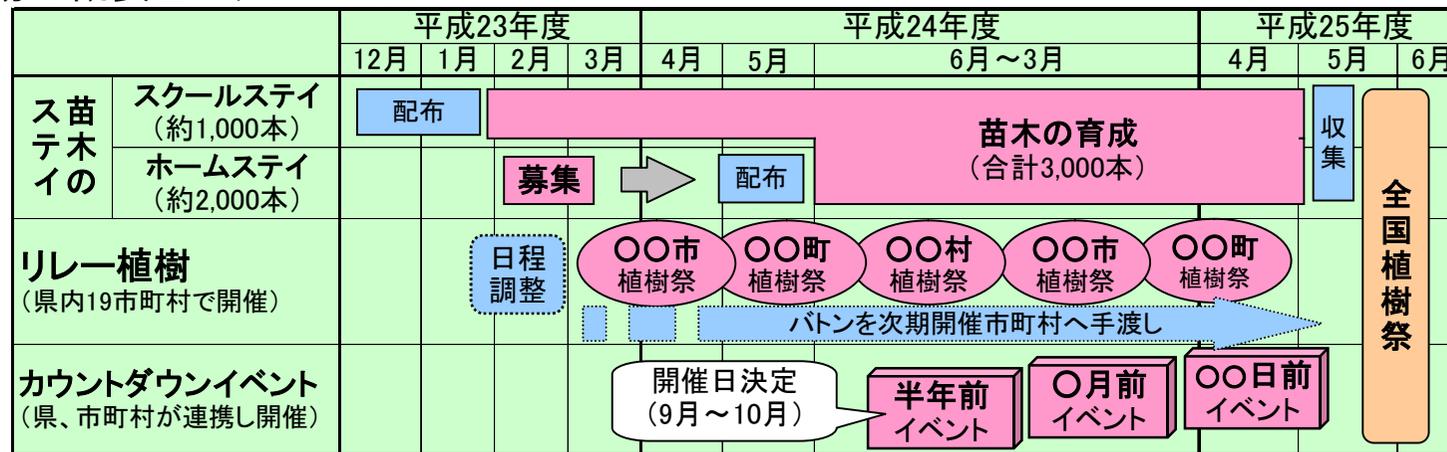
- ①森林環境の維持・保全活動
- ②環境美化・啓発活動
- ③海・川・湖沼の環境・水産資源の保全に資する活動



県民運動の展開(苗木ステイ・リレー植樹等)について

全国植樹祭開催に向け、全県的に気運を高める活動として、植樹行事で使用する苗木を県内の学校や団体で育てていただく「苗木のスクールステイ・ホームステイ」、県内19市町村が順次植樹イベントを開催する「リレー植樹」、東中西部レベルでの「カウントダウンイベント」を実施します。

活動の概要とスケジュール



スクールステイは県内43の小学校でスタートしています



リレー植樹ではフェンソーアート製トッキョのバトンを引き継ぎます



カウントダウンイベントは、植樹のみでなく植樹祭をPRする内容とします

日産プリンス鳥取販売(株)による車両協賛について

●協賛の概要

- ・日産プリンス鳥取販売(株)は、車両1台を県実行委員会に貸与。
- ・協賛車両の車種 日産 リーフ（走行中のCO2排出ゼロで環境にやさしい100%電気自動車）
- ・協賛車両の貸借期間は、平成23年12月28日から平成25年7月31日まで
- ・県実行委員会は、協賛車両の車体に全国植樹祭のロゴ等を貼り付けて、県内各地で行う出前説明会やPR活動に使用する。

●引渡式

- ・日 時 平成23年12月28日(水)午前11時30分から正午まで
- ・場 所 鳥取市東町一丁目133 知事公邸

※車両協賛は、県内トヨタ4社からのプリウス(平成23年11月15日引き渡し)に続く2台目



日産プリンス鳥取販売(株)の皆様と
平井知事・トッキーノ



協賛車両 リーフ
「緑の豊かさトッキーノ号」

第30回全国都市緑化とっとりフェア

都市緑化意識の高揚や、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、緑豊かな潤いのある街づくりに寄与することを目的として、国土交通省の提唱で昭和58年より毎年開催している花と緑の祭典。

昭和58年から地方公共団体と財団法人都市緑化機構との共催で開催し、平成25年度の本県開催まで30回目を数える。

- 平成25年 9月21日(土)から
11月10日(日)までの51日間
- メイン会場:湖山池公園地区(有料)
及びコカ・コーラウエストパーク
- サテライト会場:とっとり花回廊
東郷湖羽合臨海公園
- 目標来場者数:30万人以上
- 開催テーマ
「ともに育てる 身近な緑」
～水と緑につつまれた世界ジオパークのまちから～



エコツーリズム国際大会2013in鳥取

エコツーリズムとは、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組み。

「国際リゾート地」として世界に打って出るために、国内外のエコツーリズムに関する有識者が一堂に会する「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」の開催を誘致。

- 平成25年 秋季
- 全体会議:大山中海エリア(第1日目)
エクスカーション(体験型見学会)
:県内全域(第2日目)
まとめ会議:大山中海エリア(第3日目)
- 大会規模:2,000人
外国人100人を含む県外参加者500人



◆サイン計画／テーマカラーの設定について

「鳥取の歴史・カラー」を表現したテーマカラーとは…

○とっとりらしさのデザインキーワード：弥生／鳥／花々／木の文化

○弥生時代の人々が愛した色、弥生時代の身近な風景の色をテーマカラーと設定します。

藍色

青色は空・海・水を連想し、緑色とともに身近な自然の色で弥生時代の人々が好んだ色の一つです。藍の生葉染めは新鮮な藍の葉をそのまま使って染められたもので、自然な風合いが特徴です。弥生時代のガラスの青も大切にされていました。

藍色（DIC 日本の伝統色 :N-889 藍色）

DIC 889
藍色(あいいろ)
5版



美しい鳥取の海



藍の生葉染め



列島唯一の青いガラスの腕輪

茜色

椿の生葉や茜などの植物や、石などを使い弥生の人々は赤色をつくりだしてきました。

また、弥生時代から現代まで、太陽は地球に光と温もりを送っています。未来にも同じ輝きを残すことを象徴する色です。

茜色（DIC 日本の伝統色 :N-726 茜色）

DIC 726
茜色(あかねいろ)
5版



鳥取砂丘の夕日



茜の根の染物



弥生時代の木製盾

緑色

緑色は山、森林、草木や葉を具体的に連想させる自然の象徴とも言える色です。弥生時代の人々は「生」を意味する緑色を、好んで身につけました。ヒスイ製の首飾りなどとして使用され、弥生時代の豊かな緑をイメージ。

大山の新緑をイメージさせる緑色、植樹祭にもふさわしい色です。

鮮やかな緑色のヒスイ製勾玉

緑色（日本の伝統色 :N846 パロットグリーン）

DIC 846
パロット緑(パロット グリーン)
5版



大山

実際の製作時には、素材によって色味は変わることが想定されます。

今後のスケジュール(案)

資料7

	平成23年度												平成24年度																																																											
	11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月																																							
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																																							
(社)国土緑化推進機構・宮内庁	●基本計画の決定2/8												●招待計画等協議												●開催日の決定												●宮内庁実施計画案説明												●実施計画の決定												●宮内庁実地調査											
総会	基本計画中間検討												基本計画(案)策定												実施計画中間検討												実施計画(案)策定																																			
全国植樹祭鳥取県実行委員会	基本計画策定												実施計画の検討												素案の検討												中間検討案												実施計画案												各種マニュアル作成											
	中間検討案作成												見直し・検討												各幹事会・専門委員会との調整、検討事項・決定事項の反映												見直し・検討																																			
幹事会	基本計画輸送												宿泊輸送基本計画												招待者配宿計画												駐車計画策定												招待実施計画策定												各種マニュアル調整、各種リハーサル運行計画調整											
専門委員会	式典音楽検討												式典音楽の検討												出演者の決定												合同練習開始												出演者合同説明会												合同練習											
お野立所検討	お野立所検討												基本設計完了												設計完了												お野立所新築工事																																			
備考	●庁内連絡会議1/30												●プレ植樹祭5/20												●第63回全国植樹祭山口県開催5/27												●後催県指導会議(山口→鳥取・新潟)												※実施本部設置												カウントダウンイベント開催											